16 ほんごう自主防犯パトロール会(日進市)

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1団体名	ほんごう自主防犯パトロール会
2事業名	住宅対象侵入盗対策事業
	防犯最前線の「見せる防犯」「不審者を寄せつけない防犯」対策を念頭に、本事業を有効に活用して、地域でガッチリとスクラムを組み、地域の安全・安心対策に取り組みました。
3事業実施結果	1 活動の活性化(パトロール体制の強化) ・購入した物品類を有効に活用して、「見せる防犯」「不審者を寄せつけない防犯」に心がけました。 ・週2回(水・土)の徒歩巡回及び月1回(第2水)青色防犯パトロール車で巡回を実施し、犯罪抑止を図りました。 ・当地区は道路が狭いため、徒歩巡回の効果があり、「のぼり旗」と「POPハンド」を持ち、2グループに分け巡回しました。環境の美化にも努め、巡回中に不法投棄があれば市と連携をして、その解決を図っています。 ・のぼり旗は巡回の存在感をアピールするのに大きな効果があり、普段声かけが進まない中学生から先に声を掛けられることも多くなりました。・住民からも「ごくろうさま」「気をつけて」の言葉をいただき、取組の原動力になっています。 「はいいます。 「はいいます。」 「おいいます。」 「POPハンドを持って 巡回する会員

2 防犯啓発

- ・警察署と連携し、警察官による防犯講習会を開催するとともに、消費生活グループによる「オレオレ詐欺」の寸劇を行い、防犯意識の高揚に努めました。(参加者45人)
- ・防犯チラシのポスティングを行うとともに (9月、12月)、地域行事 (盆踊り、例大祭) に合わせて防犯チラシ及び啓発品の配布を実施し、 住民への注意喚起を図りました。
- ・防犯意識高揚のため、地域内や個人宅に「のぼり旗」を掲出しました。





各家庭にチラシ・啓発品を配布

お祭りで防犯チラシを配布

3 地域連携・広域の連携活動

・8月の夏の安全なまちづくり県民運動期間に、警察官と子ども会が連携して、拍子木を打ち鳴らしながら、合同徒歩巡回防犯パトロールを行いました。

この模様は地元ケーブルテレビで放映され、犯罪抑止に大きな成果がありました。

- ・毎月1回「防犯ニュース」を発行、回覧することで、区民に防犯活動の 内容を広報するとともに意識高揚を図りました
- ・不法投棄は、5年前の本会発足時には年100件を超えていましたが、 現在は30件程になり、効果はあったと踏んでいます。しかし、本来な ら「ゼロ」件が当たり前ではあります。
- ・目で見て、耳で聞いて、更に報道で知り、同じ目的に向けて地域が一体 となって取り組むことができました。





地元ケーブルテレビで紹介

4 その他(思いやり活動受講・自己啓発)

- ・まちの守り人講座 今年度から社会福祉協議会が開催し、人権等について学びました。
- ・AED講習会 消防署での受講模様がCCネット(地方テレビ)で放映されました。
- ・認知症セミナー講座の受講 該当者と思われる人に出会ったときの対応方法を学びました。
- ・地域防災訓練への参加 防犯・防災は車の両輪と考えています
- ・活動の状況等



愛知署警察官の挨拶



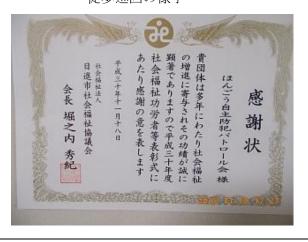
活動参加者の皆さん



徒歩巡回の様子



防犯講習会



日進市社会福祉協議会より、 日頃の活動に対して感謝状 を受取りました。

(1) 事業実施の成果及び課題

成果

地域の方々と一体となった防犯活動を進めることができた。

地域の方々の防犯に対する考え方が一層増した。巡回時の区民の「ごくろうさま」「お疲れ様」の掛け声は疲れを癒しますし、やる気を奮い立たせます。

この事業を実施したことで、地域で多くの安全対策を講じることができました。

課題

日ごとの地域の変貌に防犯活動が追いついていけない。(3年先には道の駅が開業予定など)

防犯に関心はあるがイザとなると踏み込めない方が少なくない。また、 会員の平均年齢が上がっている。

(2) 今後の取組

「継続は力なり」と言われます。この事業を通じて、安全・安心のまちづくりの大切さが、地域のみなさんに浸透したと考えています。「一朝一夕」で終わらせることなく、これからも地域の皆様と一緒になり防犯活動を進めていきます。

4成果と課題 及び今後の 取組

「自主行動は安全・安心の第一歩」